▼リンコシン注射液　［注］，▼リンコシンカプセル　［内］

【重要度】　【一般製剤名】リンコマイシン塩酸塩水和物　Lincomycin hydrochloride hydrate　【分類】リンコマイシン系抗生物質

【単位】▼300mg/1mL・▼600mg/2mL・▼1g/3.33mL・▼1.5g/5mL，▼250mg/C

【常用量】1回600mg［1200～1800mg/日］

【用法】1日2～3回（心停止を起こすおそれあり，600mgあたり1時間以上かけて点滴静注）

【透析患者への投与方法】設定されていない（1）

【その他の報告】投与間隔を2倍に延長（5）常用量を12～24hr毎（3）

【PD】常用量を12～24hr毎（3）

【CRRT】不明（3）

【保存期CKD患者への投与方法】Ccr 10mL/min以下では常用量を12～24ｈｒ間隔で投与（1）

【その他の報告】GFR 10～50mL/min：減量の必要なしもしくは投与間隔を2倍に延長，GFR 10mL/min未満：投与間隔を2～4倍に延長（12）
GFR ＞50mL/min：常用量を6hr毎，GFR 10～50mL/min：常用量を6～12hr毎，GFR 10mL/min未満：常用量を12～24hr毎（3）

【特徴】放線菌の一種であるStreptomyces lincolnensis var. linconensisの産生する抗生物質．細菌のリボゾーム50S Subunitに作用し，蛋白合成を阻害する．好気性グラム陽性菌，嫌気性菌に効果がある．

【主な副作用･毒性】ショック，大腸炎，SJS，心停止，無顆粒球症，再生不良貧血，汎血球減少症，血小板減少性紫斑病など

【F】20～35%（1）

【tmax】0.38hr［im］，4hr［po］（1）【Cmax】600mg1時間点滴静注時 16.63μg/mL，600mg筋注 15.38μg/mL（1）

【代謝】代謝されにくく主として肝から胆汁中に排泄（1）

【排泄】尿中未変化体排泄率10～15%（12）ほとんどそのままで尿中または糞便中に排出（1）尿中回収率11.0～13.5%［im，8hrまで］約15～50%［iv，7hrまで］（1）

【t1/2】4.6～4.8ｈｒ（1）4～5hr（12）【腎不全患者のt1/2】10～20ｈｒ（1,12）

【蛋白結合率】28～86%（1）70～80%（12）

【Vd】0.31～0.6L/kg（12）0.41～0.57L/kg（1）

【MW】461.01

【透析性】ある程度は透析されると思われるが効率的ではない（5）除去されない（1）

【pka】7.6【O/W係数】資料なし（1）

【更新日】20210116

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。